

傍聴者の 声

藤町老人クラブ 大内 征史 さん

私たちのクラブは、国道沿いの花植えや、公園の清掃作業、そしてグラウンドゴルフ、パークゴルフと楽しく活動しておりますが、今回クラブとして初めて議会傍聴をいたしました。

9月議会のため、主に令和3年度の一般会計、特別会計の決算認定でありましたが、1年間の予算執行の成果を細部にわたって聞くことができました。また、市政発展のため、市当局、議員一丸となって議論され、二本松をよりよいまちにしていきたいという強い思いを議会を通して感じる事ができました。



藤町老人クラブのみなさん



インターンシップの学生のみなさん



9月27日 9月定例会最終日に傍聴されたみなさん

東北学院大学 遠藤 万陸 さん

このたび、議員インターンシップの一環で、二本松市議会の傍聴に参加しました。議会傍聴は初めてで、私のイメージとは違いがあって勉強になりました。市議会では、議員の皆様が市民の生活に寄り添った細かい視点から、様々な議論をなさっていて、二本松市をよりよくしたいという思いが伝わってきました。

今後はこの議会で学ばせていただいた市民の生活に寄り添った視点や、問題解決のために長期的に取り組む姿勢などを自分の考え方に反映させ、大学での地域づくりの学びや将来の仕事に活かしたいと思います。

福島大学 篠塚 美月 さん

今回、一般質問や決算審査特別委員会を中心に傍聴させていただき、議員の方々の様々な意見を知ることができました。

私は二本松市に住んでいるのですが、地元の問題について市民の声を参考にしながら議員の方や市役所の方が議会を進める姿を目の当たりにし、市政にはたくさんの方が関わって私たちの生活が支えられているのだと実感することができました。

今までいつの間にか新しい建物が建設されていたり、学校の合併がなされていたり、という事が多かったのですが、自分の住む市についてよく考え、市民として問題等に目を向けて生活していきたいと思いました。

福島大学 市川 愛理 さん

私は今回が初の議会傍聴でした。一般質問では、私達の生活の身近で様々な問題が取り上げられていました。1つの議題について詳しく掘り下げ、どのようにすれば社会が良いほうに進むのか考えている議員の方が多いと感じました。

また、「住民の方はこの点を不便に思っているそうです。」とおっしゃる議員の方もいて、地域住民の声を反映しようとしてくれていることが分かりました。そのため、地域の様々なことに興味・関心を持ち普段の生活を送っているのだと気がつきました。

政治は私自身にとって遠い存在だと思っていましたが、今回の議会傍聴を通して少し身近に感じられた気がします。

編集後記

編集委員会も新人議員三名を含む七名の新体制でスタートしました。

編集に当たっては、市民にわかりやすい、見やすい、よりよい紙面になるよう各委員より活発な意見や提言を出してもらいながら進めているところです。

市民と議会を結ぶ大切な役割を担えるよう編集委員全員で力を合わせ頑張つて参ります。

引き続き関心を持ってもらえるよう編集に務めますので、御意見等をお寄せいただきますようお願い致します。(安齋)



編集委員会

委員長
副委員長

安齋 藤 斎 藤 坂 藤 武 藤 高 木 三

政 保 廣 二 和 志 清 彦 正 剛